

# 令和4年度研修会を振り返って

—岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会事務局—

## 【連絡先】

◇釜石市鈴子町22番1号

☎ 0193(27)8172

師走の6日と7日、岩手県観光協会の工藤様はじめ、釜石観光ガイド会員も含めた39人の方々に参加をいただいて、岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会の研修会を開催しました。

初日午後は雨模様の中、2日目の橋野鉄鉱山は初雪を踏みしめながらの研修となりましたが、釜石大観音の普段見る機会のない胎内や仏舎利塔を見学の後、命をつなぐ未来館や祈りのパーク、そしてラグビーW杯2019の開催された鶴住居復興スタジアムなどを積極的に視察いただくとともに、日帰りされる方には初日の午前中、宿泊された方には2日目に世界遺産の橋野鉄鉱山をご覧いただきました。

また、交流会は26名の参加のもと、限られた時間ではありましたが各々の団体における活動状況などもご報告いただき、普段の取組みやコロナ渦でご苦労されている様子なども知り得ることができました。

あいにく、他の事業の関係があって釜石観光ガイド会員の多くがそちらに出席したため皆さんとの交流も十分にできませんでした。アンケートの結果を見ると多くの方々から「良かった」との声を頂戴しているようです。ご案内させていただいた私たちとして先ずは安堵していると同時に、これからの活動に向けても大きな励みになりました。

来年は兎年。新たに迎える年は皆様にとってウサギのように穏やかに家内安全で、また跳びはねるイメージそのままに「飛躍・向上」されるよう願っております。

また来年、お会いしましょう！

この度は、大変ありがとうございました。

岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会長  
釜石観光ガイド会長 瀬戸 元



釜石大観音にて

## 研修概要

◇参加団体：八幡平市観光協会、遠野ふるさと観光ガイドの会、いわいの里ガイドの会、義経夢の会、宮古もてなし隊、盛岡ふるさとガイド、八幡平自然散策ガイドの会、岩手県観光協会、釜石観光ガイド会、事務局

◇参加者数：39人（交流会参加者26人）

## アンケート集約結果

◆ 回答数：26

◆ 日程について

1泊2日を望む声が9人。それ以外は日帰り、「どちらでも」又は記入なしでした。

◆ 交流会について

全員が「あった方が良く」でした。

◆ 釜石大観音について

「良かった」は20人、「普通」は6人でした。「普通」の理由は「最上階も含めて全部見たかった」など。自由記述では、「ガイドが有って知ることができた」とする内容でしたので、釜石大観音にもお伝えして充実を図っていきたいと思います。

◆ 鶴住居トモス

25人が「良かった」、1人が「普通」と答えました。自由記述では、被害状況が理解できた、実感できた、真に迫って説得力があった、自分の身は自分で守る力強いメッセージがあった、語り継ぐことが大事と感じた、小学校と中学校の話が感慨深かった、などでした。

◆ 橋野鉄鉱山について

見学した方は、全員「良かった」と答えています。

自由記述では、ガイドがなければ良さが分からない、価値が伝わりにくいとする内容で改めてガイドの重要性を認識するものでした。また、栗橋地区はポイントが多数、地域ならではの話があり内容も盛りだくさんとしながら、ガイドの苦勞を気遣う声もありました。釜石観光ガイド会でも、バスが入れない場所も含めたこれら資源の活用が課題となっていますので、引き続き検討を重ねていきたいと思います。

他方、バス乗る度にアルコール消毒を行なうべきとか、イヤホンやマイクがないと聞きにくいなどの指摘もありました。今回は省略したマイクを常時準備しておく必要があると同時に、県内における感染者数が高原状態を維持している中であって気が緩んだことを反省しています。

「言うことなし」の声も一票頂戴しました。ありがとうございます。

「高炉絵図のアニメーション化」などのアイデアも寄せられました。



釜石鶴住居復興スタジアム



釜石大観音胎内(鉦彫三十三観音)